

目次

〔巻頭言〕 骨材生産に思う……………山本 格………… 1  
 骨材の需給……………松本文雄………… 2  
 河川砂利基本対策要綱について……………本間俊朗………… 7  
 〔骨材、碎石事情の問題点〕  
 日本道路公団の骨材、碎石事情……………木村保…………13  
 首都高速道路公団の骨材、碎石事情……………西山啓伸…………17  
 新東京国際空港公団の骨材、碎石事情……………多久和薫…………20  
 〔骨材生産設備〕  
 高根ダム工事用 350 t/hr 骨材生産プラントの  
 計画と設備……………森川徳長…………25  
 梓川開発工事の骨材供給……………沢田正夫…………31  
 中島章治…………31  
 ミズホ骨材センターの生産設備……………中村克己…………38  
 東京石灰の骨材生産設備……………高木鉄雄…………40  
 第一石産運輸の骨材生産設備……………後木貞四…………43  
 〔随想〕 機械化 15 年の二、三の思い出……………亀卦川振興…………47

グラビヤ——完成した豊川用水

建設機械の改善指導調査……………畑野 仁…………49  
 〔建設機械の現状〕 (その 11)  
 VIII. 道路維持用機械および除雪機械  
 VII-1. 道路維持用機械……………浅野茂夫…………53  
 VII-2. 除雪機械……………石橋孝夫…………57  
 石田中康…………57  
 〔建設機械化講座〕 第 67 回 現場フォアマンのための土木と施工法  
 XIV. PERT による工事管理  
 3. 土工工事の工程管理に使われた PERT  
 (その 1) 東名高速道路清水東工事の実例……………伊丹康夫…………63  
 (その 2) 東名高速道路海老名綾瀬工事の実例……………立川 孝…………66  
 〔新機種紹介〕 日立 TS 15 トラクタショベル……………木村 純…………69  
 〔部会研究報告〕 場所打ぐい施工上の問題点の調査……………施工技術部会…………71  
 場所打杭委員会…………71  
 〔建設機械化研究所抄報〕  
 試験研究報告 (No. 45)……………建設機械化研究所…………76  
 〔文献調査〕  
 世界最大の 620 t/hr アスファルトプラント……………調査部会…………84  
 文献調査委員会…………84  
 〔支部だより〕 トンネル掘削機見学会……………中部支部…………87  
 ニューズ……………(編集部)…………88  
 会員消息……………89  
 行事一覧・編集後記……………(塚原・鈴木)…………90

◇表紙写真説明◇

日立 TS 15 トラクタショベル

日立建機株式会社

本機は、力強さと頑丈さで好評を博している TS 05, TS 09 トラクタショベルの経験をフルに生かし、最近の大形・高効率時代の土工作業にもマッチするよう製作されたトラクタショベルである。本機のおもな特徴は次のとおりである。

- (1) 高出力でねばり強い日立 B-40-2 形エンジンを搭載しており、油圧力も大きいので掘削性能がすぐれている。
- (2) パケット容量が大きく、放土性能もすぐれているので、大形ダンプトラックとの組合わせに最適である。
- (3) シューの高周波焼入れ、トラックプッシングの肉厚増加、トラックシールの採用など、足回りをさらに強化したので維持費が少なく、経済的である。
- (4) 車体前後の広い視界、操作力の非常に軽いレバー類、クッションのよいスライディングシートなど、居住性がよいのでオペレータの疲労が少なく、快適な運転ができる。

(本誌 69 頁参照)